

公開シンポジウム

「琵琶湖・芸術・文化 -大津市湖岸エリアの将来像を考える」

事業報告書

この度、皆様のご支援により、公開シンポジウム「琵琶湖・芸術・文化 -大津市湖岸エリアの将来像を考える」を開催させていただきましたところ、170名の参加者と50名以上の関係者のご協力により終了いたしましたのでご報告を申し上げます。

平成 25 年 8 月

① プレイベント

○テーマ

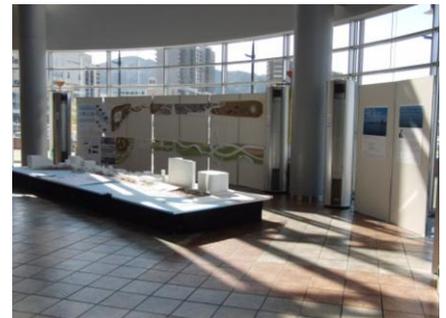
「滋賀県立大学環境建築デザイン学科 3 回生
による湖岸エリアのランドスケープ提案作品展示」

○開催日

平成 25 年 7 月 27 日(土)～8 月 2 日(金) 7 日間

○会 場

浜大津アーカス 2 階フェスティバルコート



浜大津アーカス会場

② 公開シンポジウム

○テーマ

公開シンポジウム

琵琶湖・芸術・文化

-大津市湖岸エリアの将来像を考える-

○開催日

平成 25 年 8 月 3 日(土)

○会 場

滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール 小ホール

〒520-0806 滋賀県大津市打出浜 15-1

③ プログラム

● 作品展示

12:00～15:00

作品プレゼンテーションの実物展示として
参加者との情報交換の場としました。



びわ湖ホール 小ホール・エントランス

● 開会挨拶

12:30～12:45

主催者を代表して、NPO 浜大津観光協会
中井 保より、今回の公開シンポジウムを
開催の目的等についてご挨拶をさせてい
だきました。

趣旨「芸術と文化で
生まれ変わるまち」について」



作品プレゼンテーション①

● 作品プレゼンテーション

12:45～13:20

滋賀県立大学環境科学部 村上修一教授の指導
進行の下に、6チームの学生代表より、作品
プレゼンテーションをしていただきました。
締め括りには、滋賀県立大学環境科学部松岡
拓公雄様よりコメントをいただきました。



作品プレゼンテーション②

● 基調講演

13:30～14:30

伊東 豊雄 様

建築家。1941 年生まれ。

1965 年東京大学工学部建築学科卒業。

現在、

「台中メトロポリタンオペラハウス(台湾)」

「みんなの森 ぎふメディアコスモス(岐阜県)」

等が進行中。

「近代建築を自然に対して開くことができるか」をテーマにしています。
過去の実績から現在進行中の取り組み説明を通じて、建築を自然に開く
活動内容について説明をいただく。

そして「建築とは、対話からつくっていくもの」という考え方をわかりやすく説明いただきました。



基調講演①



基調講演②



基調講演③

●パネルディスカッション

14:40～16:30

コーディネーター

佐藤典司（立命館大学経営学部教授）

パネリスト

伊東豊雄（伊東豊雄建築設計事務所代表）

福家俊彦（天台寺門宗総本山園城寺三井寺執事長）

芦澤竜一（芦澤竜一建築設計事務所主宰、滋賀県立大学環境科学部准教授）

椿 玲子（森美術館プロジェクト・キュレーター、成安造形大学客員教授）

椿 玲子氏の趣旨○「アート交流空間
を設けて持続的活動を」

福家俊彦氏の趣旨○「既存の概念にと
らわれず、意識をもって行動を」

芦澤竜一氏の趣旨○「ポテンシャルを
活用し、エコトーンの再生を」

伊東豊雄氏の趣旨○「琵琶湖、大津の
独自性をうまくアピールを」

佐藤典司氏の趣旨○「どこにもない魅
力でブランド力のアップを」



●交流会

17:30～19:00

基調講演をいただきました、伊東豊雄氏を
囲んで、シンポジウム開催関係者が一堂に
介し、成果と今後について意見交換会を開
催しました。

